

2011年度 SMSの見直しに関する記録

承認: 年 月 日
承認: 年 月 日

所 長	環安GM	担 当

1.システム監査等を通じて、SMSの運用にかかわる問題点として把握された事項

- ①ヒヤリハット情報については、協力会社ヒヤリの活用は活性化されたものの、間接部門を含めたヒヤリハット情報の見える化/活性化に改善の余地がある。
- ②過去に実施したRAのフォローアップを継続して実施しているが、リスク低減措置の効果確認の時期や方法等の細部につき、部署間における共有化に改善余地が認められた。
- ③間接部門において実施している「事故型のRA」に関して、新規の取組み視点が不明確であることが指摘された。

2.安全衛生に関する法令、制度・政策等の動向その他社会情勢の変化

特になし。
(※)平成24年3月29日付けで通知された「JISHA方式 OSHMS認定基準(新基準)の変更」に関し、改正対応の確認を事務局にて進めていく。

3.当年度の安全衛生目標の達成状況その他SMSの運用による効果の状況

- ①2008年度～2010年度に実施したRAのフォローアップは計画通りに達成した。
- ②RA結果へのハード対応を2011年度は 件(円)を実施し、リスク低減に効果を上げた。

4.上記1～3により必要と考える、SMSの改善措置

- ①ヒヤリハット情報の更なる見える化と活用の充実化
- ②RAのフォローアップの徹底と推進(含、部署間の共通認識)
- ③間接部門において実施している「事故型のRA」の新規取組み
⇒ 各部署の業務の特徴に応じたRAの対象、範囲の選定

5.上記4についての安全衛生委員会における審議結果

(審議内容の特記)
SMSの改善措置として挙げられた「ヒヤリハット情報の活用の充実化」「RAのフォローアップの徹底と推進」「間接部門の事故型RAの新規取組み」については、確実に実施をすること。

※4月度安全衛生委員会で2011年度総括内容を審議の結果、全て承認された。

6.所長(SMS総責任者)コメント

総括にもあるとおり、2011年度は 所の運営システムとSMSがリンクした形で機能したと評価でき、十分な成果をあげたと評価している。今年度も、 所目標及び事業計画で具体的な活動計画を策定しており、今年度の事業計画を確実に推進することで、SMSの目標を達成するように所員一丸となって進めて行きたい。

労働安全衛生マネジメントシステム構築計画書

項目	内容	担当部署	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考欄
安全衛生方針の表明	(1) 安全衛生方針の表明 (2) 安全衛生方針の周知	社長 安全衛生委員会				方針の表明 方針の周知									
安全衛生目標の設定	(1) 安全衛生目標の設定 (2) 安全衛生目標の周知	OSHMS推進事務局				目標の設定 目標の周知									
安全衛生計画の作成	(1) 安全衛生計画の作成 (2) 安全衛生計画の周知	OSHMS推進事務局				計画の作成 計画の周知									
安全衛生体制の整備	(1) OSHMS事務局設置 (2) OSHMS推進者の選任 (3) OSHMS推進体制の決定	安全衛生委員会 OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局				事務局の設置 推進者の選任 推進体制の決定									
危険性又は有害性の特定 及びリスクアセスメントの実施	(1) RA教育の実施 (2) RA手順、模範類の見直し (3) モデル模範への説明・周知 (4) RAの実施 (5) 危険有害要因の除去・低減案作成 (6) 改善実施 (7) RA実施の反省・見直し	OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 作業班				RA教育の実施 教育の模範類の見直し 手順、模範類の見直し 取組への説明・周知 除去・低減案作成 取組の意見集約									6/30(現場)ーダーRA研修
システム監査	(1) システム監査推進者 育成 (2) 内部監査員養成 (3) 監査の模範(手順、チェックリスト) (4) システム監査 実施 (5) システム監査 レヴュー	OSHMS推進事務局 社長 OSHMS推進事務局 中央災害防止協会 社長 OSHMS推進事務局													
明文化	(1) 文書類の作成と整備	OSHMS推進事務局													
日常的な点検、改善等	(1) 安全衛生計画の進捗確認 (1) 中肉防による総合支登推進(24.2.29) (2) マネジメントレビュー(見直しの実施)	OSHMS推進事務局 OSHMS推進事務局 中央災害防止協会 社長 OSHMS推進事務局													
労働安全衛生マネジメント システムの見直し															
安全衛生計画の実施 (日常安全衛生活動の 計画実施)	(1) 安全 ①作業手順書の整備・遵守 ②安全教育、安全に対する啓蒙活動 (2) 安全衛生委員会開催 ①無災害記録作成 ②災害発生報告 ③マイレヤット、物損(災害)情報 (3) 安全パトロール (4) 作業環境測定() (5) 特殊健康診断(有線浴剤)	作業班 安全衛生委員会 安全衛生委員会 安全衛生委員会													

中小規模事業場労働安全衛生マネジメントシステム普及推進事業委員会メンバー

(順不同)

【委員長】

後藤 博俊 帝京大学客員教授、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会 顧問

【委員】

五十石 清 五十石技術士事務所 (労働安全コンサルタント)

赤木 勝 赤木労働安全&衛生コンサルタント事務所

桜井 勉 桜井労働安全コンサルタント事務所

石田 修 石田労働安全衛生コンサルタント事務所

石田 昌敬 労働安全コンサルタント (元住友化学株式会社)

協力事業場

(五十音順)

青森オリンパス株式会社

アサヒビール株式会社 神奈川工場

宇部興産株式会社 建設資材カンパニー 生産・技術本部 伊佐セメント工場

岐阜車体工業株式会社 本社

株式会社木村鋳造所 群馬FM工場

株式会社交通機械サービス

三和油化工業株式会社 石根工場

J X日鉱日石エネルギー株式会社 麻里布製油所

株式会社神明精米 西宮浜工場

住友化学株式会社 筑波開発研究所

株式会社正電社

株式会社大紀アルミニウム工業所 結城工場

ダイキン工業株式会社 鹿島製作所

大平洋金属株式会社

滝川工業株式会社 加古川工場

東芝機械株式会社 相模工場

株式会社特殊金属エクセル 埼玉事業所

豊田ケミカルエンジニアリング株式会社

日本サーファクタント工業株式会社 宇都宮営業所

PHP兵庫株式会社

富士車輛株式会社 本社

株式会社ミヤケ 滋賀工場

リマテック株式会社 堺SC工場

YKK AP株式会社 埼玉工場